



Japan  
Food  
Research  
Laboratories

## 試験報告書

第 205082084-001号

2005年(平成17年)10月06日

依頼者 株式会社スリーケーコーポレーション

検体 DJ-I

表題 抗菌力試験

2005年(平成17年)08月25日当センターに提出された  
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号  
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号  
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号  
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号  
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号  
千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

## 抗菌力試験

### 1 依頼者

株式会社スリーケーコーポレーション

### 2 検 体

DJ-I

### 3 試験目的

検体のレジオネラに対する抗菌力を試験する。

### 4 試験概要

検体にレジオネラの菌液を接種(以下「試験液」という。)後、40℃で保存し、1、6及び24時間後に試験液中の生菌数を測定した。

### 5 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 試験液1 ml当たりの生菌数測定結果

試験菌	対象	試験液1 ml当たりの生菌数			
		開始時*	1時間後	6時間後	24時間後
レジオネラ	検体	$1.3 \times 10^6$	$6.6 \times 10^4$	$7.0 \times 10^3$	<100
	対照	$1.3 \times 10^6$	$1.2 \times 10^6$	$1.8 \times 10^6$	$3.2 \times 10^6$

<100 : 検出せず

対照 : 精製水

保存温度 : 40℃

\* 菌接種直後の対照の生菌数を測定し、開始時とした。

## 6 試験方法

### 1) 試験菌株

*Legionella pneumophila* GIFU 9134(レジオネラ)

### 2) 菌数測定用培地及び培養条件

B-CYE  $\alpha$  寒天培地 [栄研化学株式会社], 35 °C  $\pm$  1 °C, 7日間

### 3) 試験菌液の調製

試験菌株をB-CYE  $\alpha$  寒天培地で35 °C  $\pm$  1 °C, 3日間培養後, 再度B-CYE  $\alpha$  寒天培地で35 °C  $\pm$  1 °C, 2~3日間培養し, 菌体を精製水に懸濁させ, 菌数が約 $10^8$ /mlとなるように調製し, 試験菌液とした。

### 4) 試験操作

検体10 mlに試験菌液を0.1 ml接種し, 試験液とした。40 °C  $\pm$  1 °Cで保存し, 1, 6及び24時間後に試験液中の生菌数を菌数測定用培地を用いた平板塗抹培養法により測定した。

なお, 対照として精製水を用いて同様に試験した。ただし, 生菌数の測定は開始時についても行った。

以 上